

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和8年3月1日		
放課後等デイサービス エミフル		利用児童数				17	回収数	
						14		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	7	0	0		・グループ活動や個別活動の機会などを設け、少しでもスペースに余裕を持った活動ができるよう工夫している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	0		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	0	1		・借用物件なのでバリアフリー化への対応には限界があるが、室内の柱にはクッション材を巻いている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	1		・資格保持者（保育士及び看護師）の職員がいることを周知する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	0		・ホームページ上に公表していることを伝えていく。
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1	0	0		・年に2回面談を実施し、支援計画を提示しアセスメントは行っているが、周知方法についての改定を検討して行く。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0		・年に2回面談を実施し、支援計画を提示しアセスメントは行っているが、周知方法についての改定を検討して行く。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		・年に2回面談を実施し、支援計画を提示しアセスメントは行っているが、周知方法についての改定を検討して行く。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	0		・年に2回面談を実施し、支援計画を提示しアセスメントを行い、年間を通して活動プログラムの工夫はしているつもりではあるが、周知方法の検討が必要。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1	2	4		・日々の活動で地域の公園などの公共の場遊びに行き、地域の子どもたちと一緒に遊ぶ機会を設けている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	0		・年に2回面談を実施し、支援計画を提示しアセスメントは行っているが、周知方法についての改定を検討して行く。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	2	3	・あれば参加したい。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2	0	0		・引き続き連絡帳や電話などで子どもたちの様子を伝えるようにし、ご家庭との共通理解を図っていききたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	1	0		・年に2回面談を実施し、必要であれば助言は行っているが、周知方法についての改定を検討して行く。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	1		・面談の際など支援内容については丁寧に説明をする。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	0	1		・今年度は新たに保護者や利用児のきょうだい参加ができる夏祭りやファミリーデーを開催した。今後も保護者同士の交流をする機会を設けていきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	3		・事業所内での情報共有をもとに対応するスタッフを決定し、必要に応じては各関係機関と連携しながら対応するようにしている。
	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	0	2		・毎月事業所通信の発行を行っている。そのほかにはブログにて日々の様子や事業所での取り組みなどを紹介するなどの工夫を行っている。また、毎年ホームページにて自己評価の公表を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	2		・各マニュアルはいつでも開示できるよう事業所の玄関に掲示している。最低でも年2回は避難訓練を行っているため、実施した際は連絡帳やブログなどで情報発信していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	1		・年2回の避難訓練は継続していきたい。また、非常災害への備えもしているため子どもたちや保護者への情報発信も行っていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		・面談の際などに丁寧に説明をする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	1		・事態の内容によっては全利用児、または保護者へ情報の提供をする。電話連絡以外にメールでの配信も可能であるため、迅速に対応できるよう体制を整えている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	4	0	0	・他の子どもに「死ぬ」「ぶっ殺すぞ」「きもい」等の暴言がストレスとなっていて事業所は好きでも暴言を吐く特定の子どもがいる日は苦痛になっている。	・年齢や学年、個々の特性に配慮したソーシャルスキルトレーニングを行い、友だちづきあいや会話の上手な仕方を学ぶ機会を作っている。スタッフが間に入りながら相手の気持ちと自分の気持ちの違いに気づいたり、気持ちの言語化ができるよう取り組んでいる。必要に応じて、不適切なものにはその都度注意をしている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	7	0	0	・他の子どもに「死ぬ」「ぶっ殺すぞ」「きもい」等の暴言がストレスとなっていて事業所は好きでも暴言を吐く特定の子どもがいる日は苦痛になっている。 ・友達とパッドゲームをやりたいたいと言う。	・子ども会議と称して活動の内容を話し合う機会や「やってみよう」「行ってみたい場所」などを聞く機会を設けているため、今後も子どもたちの意見を取り入れながら楽しく通所できるような環境づくりに努めていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2	0	0		・利用していただいている利用者や保護者の皆様全員に満足していただけるよう、努力していくことに努めたい。